

第 30 回 千葉大学 ISO 学生委員会 (第 55 号)

千葉大学では 2003 年度から環境マネジメントシステムの導入の取り組みを開始し、2004 年度に西千葉キャンパスで ISO14001 を取得。2007 年度には取得範囲を全学に拡大。2013 年度には ISO14001 に加えて全国の大学で初めて ISO50001 の認証取得を実現しました。

千葉大学環境 ISO 学生委員会は、この ISO14001 への取り組みとともに発足し、大学の一組織として、環境・エネルギーマネジメントシステム(EMS・EnMS)の運用と構築の一役を担っています。2009 年には更なる主体性の拡大のため、NPO 法人格を取得し、理事長以下全ての役員を学生が担い、NPO 法人としても運営しています。

千葉大学では学生が主体的に EMS・EnMS の根幹に関わる業務を行うことを特徴としており、当委員会では学生・教職員に対しての「基礎研修」や EMS・EnMS の計画である「環境目的・環境目標・実施計画」の原案作成、監視測定及び内部監査の実施、外部機関による ISO 認証審査への立ち合い、環境報告書の作成などを行っています。

一方、その他の活動として、省エネ資源・緑化・堆肥化等の活動、学内への啓発活動、地域との連携を行っています。例えば、千葉大学では学生の発案により 2006 年からレジ袋の有料化を実施しています。2014 年度は 99%以上がレジ袋を辞退しており、この削減費用は環境活動によって学内に還元しています。また、学生・教職員から不要な本を回収し、販売する「古本市」を開催し、廃棄物排出量を削減するとともに、本のリユースの体験を通して 3R の啓発を行っています。

これらの活動は全学で単位化されており、EMS・EnMS の専門知識を身につけるとともに、仕事を進めるための実務経験の場となっています。さらに 3 年間携わった学生には、学内資格である「環境エネルギーマネジメント実務士」が学長より授与され、これまでに 300 名を超える学生が取得しています。

2014 年の 10 月～12 月の 2 か月間には、容器包装の 3R を進める全国ネットワークの協力のもと、マイボトルモデル事業の実証実験を行いました。これは身近に環境を考えるきっかけの提供を行い、アンケートによりマイボトル・飲料容器購入量の現状を把握し、ごみ削減、飲料代の削減へとつなげることを目的としています。今後はその実証結果を利用して、全国の大学に波及させる、店舗での値引き販売を提案するなど、幅広く飲料容器のごみ削減に向けた活動を継続的に行いたいと考えております。

学外でも、コミュニティガーデンの設置や自治体のイベントへの参加などによって、地域との連携を広げています。また、全国環境 ISO 学生大会、エコメッセ in ちば、エコプロダクツなどに参加することで、学生委員会の活動を社会へ発信しています。

さらに、持続可能な環境配慮型社会の構築に貢献するため、2013 年度にサステイナブルキャンパス推進協議会が発足し、千葉大学も運営委員会のメンバーとして多くの大学と共に活動しています。2015 年 11 月には、千葉大学で年次大会が開催されます。

当委員会の詳細はホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。今後とも千葉大学環境 ISO 学生委員会をよろしくお願いいたします。

ホームページ <http://env.chiba-univ.net/>

